

東京音楽大学 Presents

芸術に没る、一夜。

日本を代表するアフレスコ画の巨匠、  
絹谷幸二氏の作品とドイツの青少年  
オーケストラが「平和」をテーマに  
一堂に会す。

武満徹「弦楽のためのレクイエム」  
チャイコフスキー「ワイオリン協奏曲 二長調 作品35」  
トヴォルザーク「交響曲第7番 三短調 作品70」

# ART X MUSIC

Tokyo College of Music × BAYERISCHES LANDES JUGEND ORCHESTER × Koji KINUTANI

東京音楽大学 × バイエルン州立青少年オーケストラ × 絹谷 幸二

# 平和の響き

神奈川 Kanagawa 2016. **8.12** .Fri 神奈川県民ホール Kenmin-Hall  
19:00 (18:30開場)

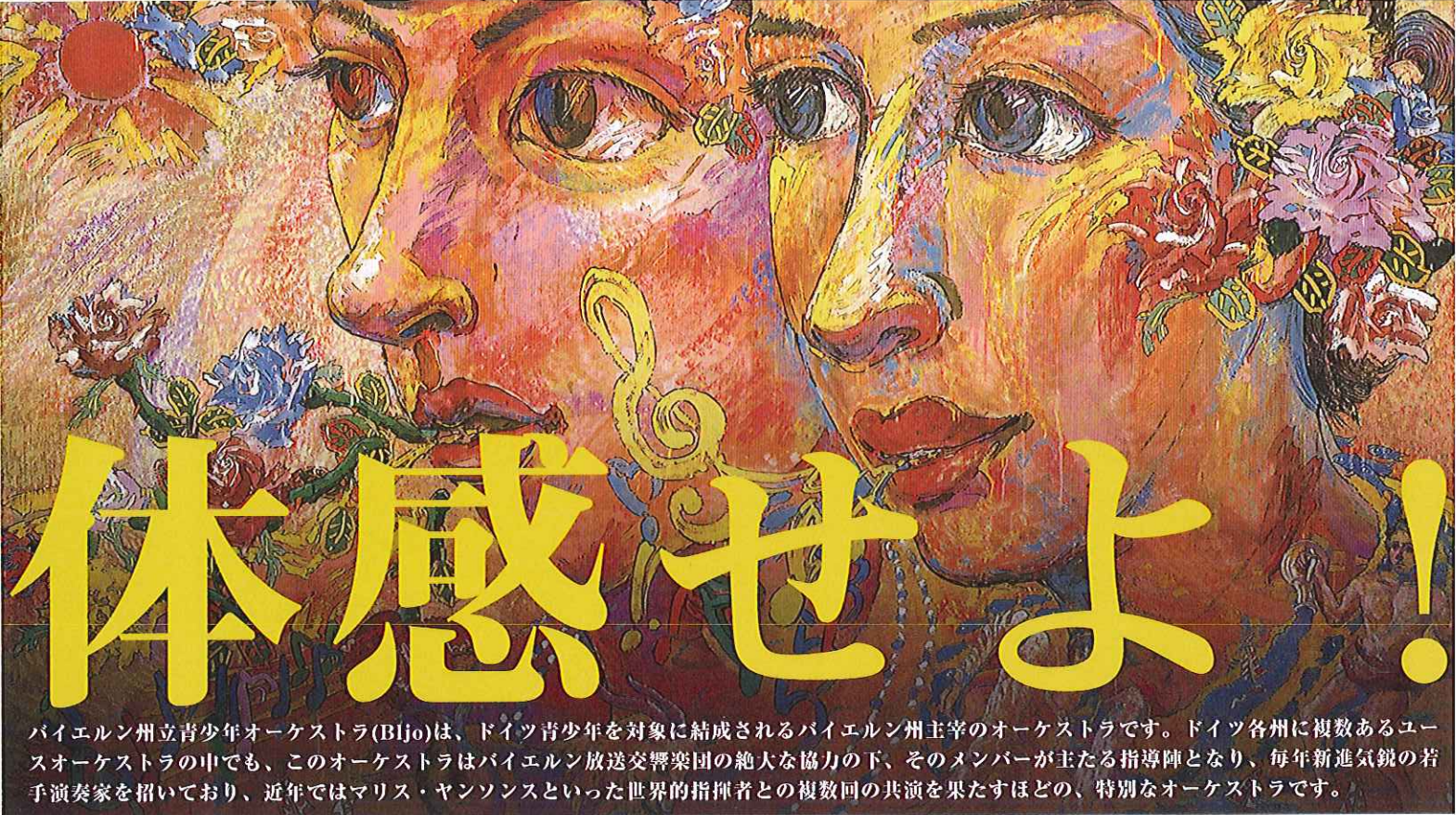
東京 Tokyo 2016. **8.13** .Sat 三井住友銀行東館 行幸通り SMBC East Building Gyo-Ko St.  
15:00 (三井住友銀行東館) 19:00 (行幸通り)

※ 公演に関する告知は<http://www.tokyo-ondai.ac.jp>にて行います。

※ 雨天の場合、夜公演も三井住友銀行東館に変更  
※ 雨天変更の告知は17時に<http://www.tokyo-ondai.ac.jp>にて行います。  
※ 行幸通りは使用協議中です。

チケット取り扱い・お問い合わせ ☎ 03-3982-3193 ✉ [career@tokyo-ondai.ac.jp](mailto:career@tokyo-ondai.ac.jp)  
主催：東京音楽大学 協力：バイエルン州立青少年オーケストラ/絹谷幸二 後援：千代田区





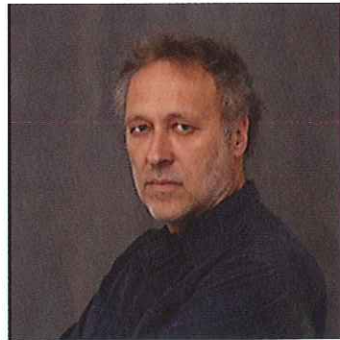
# 体感せよ!

バイエルン州立青少年オーケストラ(BiJo)は、ドイツ青少年を対象に結成されるバイエルン州主宰のオーケストラです。ドイツ各州に複数あるユースオーケストラの中でも、このオーケストラはバイエルン放送交響楽団の絶大な協力の下、そのメンバーが主たる指導陣となり、毎年新進気鋭の若手演奏家を招いており、近年ではマリス・ヤンソンスといった世界的指揮者との複数回の共演を果たすほどの、特別なオーケストラです。



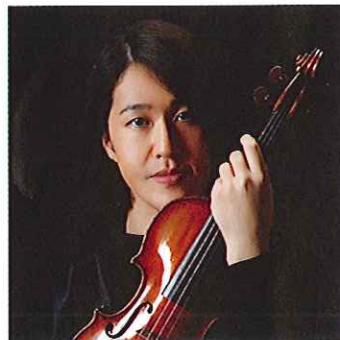
画家：絹谷 幸二 Koji KINUTANI ,Artist Painter

東京藝術大学美術学部油画専攻卒業、同大学院を修了後、イタリア留学で古典技法アフレスコを習得。31歳の若さで「絵画の芥川賞」とも称される「安井賞」を当時最年少で受賞。国内外で個展を多数開催し、「日本芸術院賞」や「日本放送協会 放送文化賞」など受賞。東京芸術劇場ホール天井など数々の公共施設での壁画や、長野冬季オリンピック公式ポスターの原画「銀嶺の女神」など制作。「色彩が豊かなところには人が集まり、生きる喜びが交差する。芸術とは何かと問われれば、人間の生存にとって必要欠くべからざるもの。」という信念のもと、アート&ミュージックの大切さを訴え、色彩によって絵の道を切り開いてきた。2009年に「絹谷幸二賞」を設立(毎日新聞社主催・三井物産協賛)、次世代の育成・教育にも精力的である。2015年に日本経済新聞社「私の履歴書」に掲載。現在、文化功労者、日本芸術院会員、東京藝術大学名誉教授。



指揮：ニコラス・ラウス Nicolas Rauss ,Conductor

ラファエル・クーベリック、フェルディナント・ライトナー、岩城宏之各氏の国際マスタークラスに参加。1987年には第6回サントレモで行われた「ジーノ・マリヌツィオーケストラ国際指揮コンクール」で全会一致の優勝。「アルトゥーロ・トスカニーニ コンクール」準決勝進出。ジュネーブ音楽院にて、ミシェル・コルボとアルバド・ゲーレッツのアシスタントを勤め、合唱とオーケストラの研鑽を各地演奏旅行で積む。1983年からはローザンヌとシオンで行われたスイス国際映画祭のゲストとしてキャリアを重ね、1984年には「スイス・ロマン管弦楽団」と、その後、スイス、イタリアの放送交響楽団、ドイツではエミリアロマーニャとサントレモ、シュレスヴィヒ=ホルスタイン、ニーダーザクセン州、バイエルン州のホーファー交響楽団といった青少年オーケストラと客演を重ねる。1990年から2004年の間、マケドニア・フィルハーモニー管弦楽団、旧ユーゴスラビア国立交響楽団との定期的な共演を重ねる。1984年以降、ウルグアイに活動拠点を以降してからはコルドバ、ロザリオ、ラ・プラタ、サンファンらと活動を共にし、モンテビデオフィルハーモニー、アルゼンチン交響楽団、しばしばブラジル交響楽団、クルチバのボルト・アレグレ、サンパウロのマナス市劇場などで客演を重ねる。現在、出身地でもあるジュネーブ(スイス)を中心に活動中。チリのサンティアゴUSACH室内管弦楽団の主席指揮者。近年ではメンドゥーサ・フィルハーモニー常任指揮者、アルゼンチンのロザリオ交響管弦楽団、ウルグアイのソドレー交響楽団の主席客員指揮者を務める。



ヴァイオリン：周防 亮介 Ryosuke SUHO ,Violin **東京音楽大学 特別特待奨学生**

1995年京都府出身。7歳よりヴァイオリンを始め、12歳で京都市交響楽団と共演。15歳で〈国際音楽祭ヤング・ブラハ〉より招聘され、チェコにてブラハ室内管弦楽団と共演しヨーロッパデビューを果たした。その後パリにてバリ管弦楽団、フランス国立管弦楽団、フランス放送フィルハーモニー管弦楽団、バリ国立歌劇場管弦楽団の演奏家により特別に結成されたオーケストラと共演し話題を呼んだ。2014年にはサントペテルブルクの〈音楽の家〉よりアジア人として初めて招聘され国立サントペテルブルクアカデミーオーケストラと共演し大成功を取った。その他日本の主要オーケストラとの共演のみならずアジアや欧州の音楽祭やコンサートでも高く評価をされている。テレビ朝日「題名のない音楽会」、NHK-FM「リサイタル・ノヴァ」などにも出演。2009年クロスター・シェンター国際ヴァイオリンコンクール第1位及びヴィルティオーゾ賞・EMCY賞。2010年ダヴィッド・オイストラフ国際ヴァイオリンコンクールで最高位及びスポンサー特別賞。2011年東京音楽コンクール第1位及び聴衆賞。2012年日本音楽コンクール第2位及び聴衆賞。2014年度出光音楽賞受賞に続き、2015年度青山音楽賞新人賞を受賞するなど今最も期待される新進気鋭のヴァイオリニストである。現在、東京音楽大学に特別特待奨学生として在学し、小栗まち絵、大谷康子、原田幸一郎の各氏に師事。2014年度、2015年度ロームミュージックファンデーション奨学生。戸田育英財団奨学生。

“喜び”を実現する企業グループ

いっしょに、明日のこと。 Share the Future